学校だより　夏休み号

相模原市立二本松小学校
2025. 7. 16

にほんまつ

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

「井の中の蛙 大海を知らず」の続き
～自分をひろげる　自分を深める～

校長　　松浦　隆志

「井の中の蛙 大海を知らず」ということわざを知っているでしょうか。この言葉は、中国の古典「荘子（そうじ）」が語源として、日本でことわざとして広く伝わったとされています。しかし、この言葉には、こんな続きがあるとも言われています。

「井の中の蛙　大海を知らず、されど空の青さ（深さ）を知る」
（狭い世界しかしらないカエルでも、その狭い世界の中で、空の青さ（深さ）は知っている）

「井の中の蛙大海を知らず」ということわざに、「されど空の青さを知る」の後半を加えると、不思議とポジティブな2つの意味が浮かび上がってきます。

①今の自分の枠に留まらず、自分を広げていくことが大切
②一つのことを極め、深めることで得られるものがある

さていよいよ７月１９日（土）から、３７日間の長い夏休みが始まります。せっかくのまとまった自由に使えるの時間です。冒頭に紹介したように、自分の知らないことや新たなこと挑戦して、「自分を広げる」のもよいと思います。また、一つのことに粘り強く挑戦して、「自分を深める」にもよい機会だと思います。一つでも良いので、何をするかを自分で決めて、チャレンジする夏休みにしてほしいと思います。

最後に近年、市内で小中学生の水の事故が続いています。くれぐれも、休み中の安全、健康に注意して、２学期にまた元気な姿で会えることを楽しみにしています。

様々な異学年交流を進めていきます

7月号では「きょうだいペア」の交流の時間「なかよしタイム」のことを紹介しましたが、「協働（仲間に働きかけてこうどうする）」という本年度の重点に基づき、学校生活の様々な場面で、異学年交流を進めていきたいと考えています。

１・２年生の学校探検、５・６年生の委員会活動、4～6年でのクラブ活動など、より近い学年間での交流には「きょうだいペア」での活動とはまた違った学びがあると子どもたちの姿から感じています。

2学期には、運動会という大きな行事があります。今年は、昨年度の子どもたちの意見を反映し、全校種目、徒競走、表現に加え、団体種目も行います。そして、表現と団体種目は、低、中、高という学年団単位で取り組むことで、一層学びを深めていこうと考えています。